京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

雜錄

漢京より　北韓山生

△世間の噂ほどアテにならぬは無きなら文思ひがけ無き天機の洩さるゝことも有りて、莫迦々々しとて聞流せることの正しくも實現さるゝなどは決して稀ならざるは、讀者諸賢と共に吾人の屢々經驗せる處也、去ば思ひ茲に二三世間の噂を採りて何れは思ひに打傾かるゝと一笑に附せらるゝの別はあらんも、遠聞何ものかを攝取せらるゝの便宜とも成らんかとて、左に掲げ候

▲其の一は、セウル、プレッスの運命にて候、如何に成り行くやは確と分明ならず候得共、或は遠からずして廢刊せらるゝやに傳へられ候、抑も世間の推測せる處の同紙存在の必要は、最近前社長頭本元貞氏の入京と共に其の最後のものを失へるやに聞及び候、換言すれば、米人が日本の對韓政策に對して惡感を懷かざることを頭本氏が言明したるの一事は同紙が存在の最後の必要事を消滅せしめたるものとして首肯致され候、

△東洋拓殖會社に總裁派と副總裁派とありて、兩頭領は表面一向平然たるものながら、乾兒等は鎬を削り居る氣味に御座候、故に彼の機敏なる用達等も何れの袖を扣ふべきやに迷ひ居る由、可笑しさて嗤ふは不敏ながら、醜陋なる事件の多く發生させるは兩派の斷者等が互に相監視するが爲めなりと觀するは寧ろ明あるものと見られ候、

▲宮内府にも亦次官派と不平派との闘鬩行はれつゝありとか、不平派とは强ち其位置に不平なるにあらざるも次官が余りに優柔なると部下に對する愛惜の念が甚だ露骨に表現さるゝより起れるものらしく御座候、近頃、府内の秘密漏洩して膽寒く、手足竦む底の大事頻々として起れるは必ず内部に曲者の潜めるが爲めなりとし、密かに物色し居れども、所謂不平派は面從腹背、氣振りにも夫れと表はさゞるにぞ次官派なるものも闇中索摸の徒勞を喞ち居れり、されば韓人官吏は斯る間に處して自己の位置を安固にすべく巧妙に立廻はりつゝ、所謂漁夫の利を占めつゝありと、

講談

鯨屋伊右門　翁の鯨談（三）

（一三）母鯨の愛情　二ヶ月もすると、可愛らしい鬚又は齒が生て來かゝるから、乳を飲む傍ら、自分で食餌を啣へる樣になる、母鯨が自分の側から離さずに、胸鰭の下に庇ふて泳がせたり、可愛がつて保護したり、監督したり其愛情の深いのは、實に人間と異りはない位で、一年も立つて、漸やく獨立して離れて泳ぐ樣であるが、殊に（一四）座頭鯨の愛情　に至つては私も實地に見て感心したことがある、是も太平洋のフレンツリー群島であつたが、其眞ン中の島の灣内に漁に出掛けて見ると、座頭鯨が居つた、而も幼鯨が直側に居て生れてから何んでも一週間も經たかと思はれる位のもので、其鼻から二尺計りの噴水をしてゐる、兒鯨の上には二羽の親鯨が差掛つてゐた、鯨中では此座頭鯨が兒を思ふ愛情は、第一に推さねばならぬ、夫れで先づ此幼鯨を捕つた所が母鯨は幼鯨の爲に遠く離れ去る事が出來んで、其近くを徘徊き廻つて居た爲めに、遂に幼鯨と同樣に捕獲れて仕舞つた昔から殘つて居る紀州太地浦の鯨組の歌にも「今宵夢見た目出度い夢を、座頭枕に子持を前に」と云ふ位に、鯨組には此親子連れは喜ばれたものである。（一五）鯨の畝皮の用法　凡て座頭、長須、白長須、鰮鯨の喉の下の皺（畝皮）は生れたまゝの幼鯨には無い、段々大きく爲るに連れて出來る、是は鯨の口を廣く開けるのに都合の善い樣に餘裕を附けたものである。（一六）鯨鬚の作用　夫から鯨の口中に在る鬚といふものは總て上腮の方に生へてゐて、鯨が餌を食ふに必要なもので色は鯨の種類に依つて黑いのと、少し青色がゝつたのと、純白なのと、白黑斑のとがある、併し抹香杯の有齒鯨族には齒があつて、鬚はない、此の鬚の口中にある作用は、食物を嚙む用には役に立たないが、唯だ水母、鰯、鰊、小蝦などを海水と共に吞込んだ時、其の口を閉ぢ舌で水を押出すと、水が鬚の間から左右に出て食物丈け口の内に殘るのであるから、鬚は只篩の樣な働をするものになつてゐる、此の鬚は乾して輕く摩擦すると非常に光澤が善く出る、其の研き上る手間といふものは尋常でない、私共が米國船で脊美鯨を捕獲た時は、殆んど一ヶ月の間、毎日船中の仕事は此の鬚乾と研きの仕上げ計りを遣つて居つた。却說此から鯨の種類に就て話しよう

●社告

病統監曾禰子爵遂に掛冠して寺内陸相之れに更り山縣前遞相は新に副統監に親任せられ永く沈睡せし統監政治は茲に面目を一新し世上の景氣は將に活氣を帶びんとす、されば本社は兩統監更迭を紀念する爲め左の通り一大紀念號を發刊せんどす

統監更迭紀念號

▲紀念號發行日　來る六月廿五日

▲記事の内容　韓半島に關する名士の談論其他政治、經濟、人情、風俗、美文、短篇等最も趣味と實益に富める記事を網羅す

▲頁數、發行部數　約數十頁となし發行部數も平素に數倍し廣く江湖に配附せんとす

右の次第なれば當日の廣告は普通廣告に比し數倍の價値あるを信ず

尤も廣告締切り期日は六月二十日を限りとす

六月　京城新報社

日本銘刀傳

第百卅九席　邑井一講演　津田近江之守（四三）

太「れはつや、是は旅のれ客で鎌倉の方から來さしつたれ方で、先刻山中で急病を起して居たから、俺が熊膽を呑ましてし介抱をして、家の若い者もいろ〳〵世話を燒いたゞ、隣村の久助も骨を折つたから、後でチョックリ一杯飲ましてやつて呉れな　助「れ内儀さん種々此方の親方さんにれ世話になりました、有難うございます　はつ「どう致しまして、此樣な穢ない處で何も上げるものもなく、夫れでも宜ければ御心配なく何日までゞも泊つて下さい　助「有難うございます　太「ヤア客人、れ前は底豆を出しなすつたな、胡座を搔きなせエ　助「それでは御免を蒙りますどうも痛ふてなりません　太「アゝさうだらう、初めての旅ぢやア無理はない、底豆癒すには煙草の吹殼を粘飯で煉つて紙に延ばして付けるのが宜い、れはつや、後で客人に拵らへて上げな、良い酒ぢやアねへが、一杯飲みなせえ」と主人は皺に氣散じの者で、其夜はいろ〳〵待遇を受けて、助直は一間を借りて寢てしまひました、所が翌日になりまするさ、悉くの大熱で起ることが出來ません　太「是は豪い熱が出で居るから、迚も立つことは出來めへ、れ前を世話アすると云ふのも何かの緣だから決して心配をするにア及ばねへ」と夫婦の者は親切に世話を致して呉れまする、遂に三十日許りと云ふものは枕を上げることが出來ない、漸々三十五日目に病氣も快よく相成りましたから助直は、太惣次夫婦に向つて　助「どうも飛んでもない厄介に相成り、れ蔭樣で漸やく癒りました　太「それは宜い鹽梅だつた、もう大丈夫かな　助「ハイ有難うございます、もうすつかり快いやうでございます　太「それぢやア湯が立つて居るから、一風呂這入んなさい」そこで助直は湯へ這入つて身体を奇麗に致して座敷へ參りますると　太「何にもねいが床上の祝だ、俺も對手をするだから一杯呑みなせへ　助「有難うございます　太「今日は此の村方で若衆が踊を催して、見物をさせると云ふことだ、村方に天王祭があるから、行つて見たらたうだね　助「それでは仰せに從つて見物に參りませう」と病氣揚句のことでございますから、竹の杖を突きながら助直が來つて見ると、素盞鳴尊を祀つてあると見へて、なか〳〵賑やかだ

夏の祭禮は何處でも一般に天の荒神を祀り申してあるやうで、村方の若い衆が種々趣向をして、踊などを致して居りまする、直助は彼方此方見物して日の暮方に戻つて參り、其の夜は寢てしまふ、翌朝のことで、チープー〳〵吹螺の音が致しまするのは、若い者が打槌を燒いて居るので、どんな石屋さんでも早朝職にかゝりまする前に、打槌の刄の捲くれて居るのを若い者が一生懸命に吹壺へ掛けて眞赤に先を燒き鐵敷の上で刄先を固め、之を袋の中へ入れて、それ〳〵職業に出掛けます、是れを見て居りました助直は　助「モシ若い衆さん　○「ヤア客人、何んだい　助「私が夫れを拵へて上げるから、れ貸し下さい　○「さうかい、ぢやアどうかお願ひ申さう」是れは刀を鍛ねる人がやるのと石屋さんが我流でやるのは、大きに違ひます、早く云へば急所を能く打つと云ふことで、十打つ槌を五つで十だけの仕事が出來ると云ふのは、其手がチャンと極つて居るから冗がございません　助「サア是をれ持ちなさい」と持たしてやつた、若衆が仕事から歸つて來て　○「客人、れ前さんが固めて呉れたのは、どんな堅いものでも些とも先が捲くれねへどうも有難い」と禮を云ふ、或は鐵を買つて貰らつては法を許り、刀を鍛ねるやうに打上げて、それを研付けて柄を付けて親方へ渡す　親方太惣次は手を打つて喜び　太「それぢやアた前さんは鍛治屋さんか、宜い人が家へ泊つて呉れた、石屋の家に鍛治屋さんが泊つて呉れるなんて、此樣な結構なことはねへ、是からは月々幾らと云ふ給料を出すから、當分は悠くり足を止めて居て呉んなさい」と云ふのも親切に申して呉れたのでございますから、助直も忌と云ふ譯にも往かないので、病中を助けて呉れた親切は一通りのことでないから、此處に暫らく足を止めて毎日のやうに手助けをして居りまするど、此の四五日は何となく村方が物淋しうございます、或る一日村の者が太惣次の宅の奥の一間へ集つて參りまする樣子　太「イヤ大きに御苦勞さんで、どうも飛んでもねゐことが始まつて弱つたい、此樣なことが長く續いた日には仕方がねゑ　○「本當にそれに違ひない、併し酒を飲んで若者や何かゞ醉ばらつたりなどすると間違ひの種だから、酒は後のことにしやう　△「成程、それが宜い、大きに庄屋さん、御苦勞樣でございます」

廣告

韓國仁川　日本醤油株式會社

仁川港　三巴醤油　釀造場　電話七壹番

景福宮拂下建物温突賣却販賣
瓦斯コークス販賣
京城南山町三丁目（電話一一四九番）
酒井組出張所

横井陸軍軍醫監閣下御處方
戸塚山本兩軍醫總監御證明
ゴクメグスリ
本舗　大阪

「軍隊内でトラホームの流行には困る、此の五福目藥で退却してやろー」
「ハイ先日の强行演習で大分惡くなりました、大山閣下のついた眼藥なら全治するも請合です、ヤーいゝ氣持になりました」

諸公債諸株券、現物賣買、迅速確實に御取扱可申候
兼業　既製洋服卸小賣　諸官衙御用達
京城本町三丁目
大坂野村德七代理店　田中友吉商店　電話九九三番

名譽銀牌受領　キリンビール

津門丑之助
拙者儀開業廣告中は在來多數の同業者と異り云々の文面は多數の同業者に對し過言に付之を取消し併て鍼灸會の厚意を謝す

鍼灸按摩廣告（いろは順）
南山町四丁目　本田仙吉
大和町一丁目　本田傳三郎
壽町清水内　細見大吉
南山町三丁目　小野徳松
南山町小野内　小野トキ（女）
新町三丁目　香川八郎
本町八丁目　加茂玉五郎
南山町小野内　川村（女）
南山町本田内　梶本
大和町一丁目　金ほう虎吉
明治町一丁目　武居仲藏
大和町一丁目　津門丑之助
吉野町一丁目　南原芳太
大和町二丁目　中島惣吉
本町八丁目　中村辨造
明治町一丁目　村上ヨシ（女）
南山町本田内　村上
南山町小野内　福助
日の出町三丁目　小天狗
南山町二丁目村上雜貨店裏　琴寄
壽町三丁目　清水長闘
壽町清水内　白石ヒサヘ（女）
明治町一丁目村上内　廣石三槌
右連名は京城鍼按會員にして學術實驗を旨とし各患者に對し丁寧親切に治療仕候
毎月三日研究會に付午後六時迄休業仕候
京城鍼按會

移轉廣告
從來竹園町一丁目にて營業致在候處狹隘に付左記の所へ移轉仕候
黄金町十八銀行向小路入
質屋　戸谷

入院隨意
内外科　小兒病　梅毒淋病
高井醫院
京城壽町三丁目　電話（二一六）
院長　陸軍軍醫正　高井貞治

レガー、ブドウ酒、ブランデイー、洋菓子、果物カン詰類
シガット、シヤンピン、ウヰスキー、キリンビール、タンサン水
卸小賣
歐米雜貨洋酒食料品
洋煙草類金銀屬美術品直輸入商
二三丁目　辻屋
支店電話三六六

東京電報

▲重要案件審議　樞密院諮詢案内務省所管重要案件に就き吉川伯以下特別委員參列の上委員會を開き桂首相參列の上詳細を說明したり(十五日)

▲拓殖銀行外債　北海道拓殖銀行にては過般來小池工業會社の手を經てセイルフレザー商會に對し第八回拓殖債券發行引受けに關し交渉中なりしが發行總額五百萬圓利率年五朱引受金百圓に付九十一圓八十七錢五厘三箇年据置二十箇年以内償還を以て愈々内約成立したり(同)

▲官制改正内容　統監府現官制は根本的に改革するに決定し發表は來月なるべし其の要領は政務の統一を主眼とし現在特立せる通信管理局、司法廳、營林廠は勿論總て重要機關を全部統監府に包容すべしと確聞す(同上)

▲外人權利擁護　永代借地權は條約改正の一問題となり又た居留地外人等は今より其の權利を擁護せんと各本國政府に覺書を提出したり(同上)

▲石塚氏の任務　石塚前總務長官事務取扱は參與官として在職せしめ時局解決に伴ふ諸制度編成其の他重要任務に當らしむる事に決定し居る由(同上)

▲東郷大將檢閲　特命檢閲使東郷大將は愈々今十五日午後三時四十分新橋發隨員を從へ呉鎮守府に直行す(同上)

▲韓太子の旅程　韓國皇太子の中國行啓は我聖上陛下の御裁可を經たるが其旅程は七月十三日東京出發大阪港を經て舞鶴、宮津、天の橋立、田島の温泉、城之崎温泉、鳥取、島根兩縣下を經て廣島尾道を巡覽、大津琵琶湖を遊覽して歸京の豫定にて其間旅程約二十日間なりと

▲新統監披露宴　新統監寺内子爵は今十五日より各國大使公使元老大臣樞密顧問官等二百餘名を陸軍大臣官邸に招待し統監就任披露宴を兼ね盛大なる留別宴會を催せり當日は山縣副統監木内農商工部次官有吉總務長官荒井次官小松外務部長宇佐美參與官中山書記官並に岡參與官若林前總監出席し午後一時より引續き園遊會を開けり(同上)

▲有吉長官の披露　有吉新任總務長官は本日千葉縣より着京寺内新統監を訪問せり後統監府出張所に登廳執務の披露を爲せり(同上)

▲旅順解放延期　旅順港の解放は準備の都合上二十日頃迄延期せらる(同上)

▲練習艦司令官　本年の新練習艦隊司令官は八代海軍少將任命せらる(同上)

▲副統監の職務　山縣副統監は統監府官制改正までは事實上從來の總務長官事務をも處理し大臣及參與官會議には自ら出席議長たるべし(同上)

▲國勢調査會開會　國勢調査會の第一回は十四日内閣にて開會し桂總理大臣の訓示あり次回は來春貴族院内にて開く筈(同上)

上海電報

▲我警備艦動靜　南清警備艦隊明石は漢口より九江を經て安慶に達し居るが九江方面は極めて靜穩なり宇治は明石と行動を共にし二艦共も南京に赴き伏見は南京碇泊中隅田は城陵府にあり宇治は再び長沙に向へり(十五日)

雜報

▲總務長官以下任命　十四日總務長官以下左の通り任命あり

千葉縣知事正五位勳五等　有吉忠一
任統監府總務長官(高等官一等)
富山縣知事正五位勳五等　宇佐美勝夫
任統監府參與官(二等)
統監府參與官從四位勳三等　岡喜七郎
任鳥取縣知事(一等)
(韓國警視總監)正五位勳四等　若林賚藏
任奈良縣知事(二等)

此と同時に地方長官に左の通更迭あり

靜岡縣知事從四位勳四等　李家隆介
任石川縣知事(一等)
高知縣知事正五位勳三等　石原健三
任靜岡縣知事(一等)
内務書記官從五位勳五等　杉山四五郎
任高知縣知事(二等)
鳥取縣知事正五位勳四等　告森良
任千葉縣知事(二等)
北海道事務官從五位勳五等　濱田恒之助
任富山縣知事(二等)
命休職　石川縣知事　村上義雄
同上　奈良縣知事　青木良雄

地方行政の改革

統監府官制は不日改正せらるることは數次報道したるが之と前後して韓國の現制度の大改革を行ふや否やは今報道する時期にあらざるも地方行政は著しく改變せらるることは明にして觀察使理事官を廢して勅任以上の資格ある日本人を以て地方長官に任命し之と同時に地方制度の大改革を爲す筈なり

韓字新聞の戒飾

警視廳は昨今韓字新聞に對し一層嚴重に版前檢閲を勵行し居れるが尙ほ酷だ其言論、亂調子に流れ時局の紛糾を釀さん事を認め十四日各社に命じて自今濫りに時事を論議して民心を浮惑せしめ或は又徒らに人身攻擊に亘りて讀者を誣ゆるが如き記事は一切掲載すべからずと嚴達する處ありたりと

●通漁船の曳船規程　日本通漁船の韓國沿岸に出漁せるものは近來著しく增加したるを以て從來の如き運搬法は到底間に合はざるに依り關稅局に於ては今般之等の便利を圖る爲めに左の如き漁獲物運搬の規程を設け各稅關に訓令するところありたり

一、日本船舶にして日本通漁者の捕採取したる水產物の運搬又は通漁船の曳船請負の目的を以て沿海を航行し且つ隨時日本國開港場に通航せむとする者は韓國沿海及内河の航行に關する約定書第二條に基き免許狀の下附を申請すると同時に其の業務に關し該約條書第四條に依り稅關の許を受くる筈にて前項の特許は沿海及内河航行免狀に記載するものとす

二、該船舶は右業務の範圍内に於て水產物を搭載し又は漁船を曳船して時其航行區域内より日本國開港場に往來することを得ることと前項の場合に於て搭載又は曳船せし漁獲物の輸出稅賦課に付ては漁業母船の爲したる場合に準し不課稅の取扱を爲すものとす

三、該船舶は日本國不開港場に入港することを得ず又韓國沿岸諸港間たると日韓兩國間たることを問はず特許を受けたる業務の範圍に屬せざる旅客及荷物を漁船に配給すると否とを問はず何等を名義の以てするも一切之を搭載することを得ず

四、該船舶は日韓國の稅關支署又は韓國稅關監視署所在地に入港したる時は船長は仕出地仕向地並水運物の種類數量及漁業者の住所氏名又は曳船したる漁船所有主の住所氏名及乘組員の數等を届出で且つ免狀を提出すべきこと

●理事官東上の用向　三浦理事官は別項の如く急遽東上せしが其用件に就き得ふる處によれば氏は地方行政調査會幹事として終始同會の議事進行に參劃したるを以て新統監より其諮問を受くべく召電に接したる爲めなり而して地方行政組織及其制度若くは刷振方法に就ては既に充分意見を闘はし遺憾なきものあり唯だ其何れを採用し又何れが實際の運用に適すべきかに就ては詳細之を說明し新統監の意見に待たざるべからず故に同氏東上の上は統監の諮問に應じ他の官制改正と共に地方行政にも一新面目を開く可し

●次官統監後任問題　内部次官及警視總監の後任に就ては無論韓國の官制によりて手續きせらるべき筈なるを以て副統監若任後に非ざれば決定を見ざるべし而して其後任に就き東電は村上石川縣知事及青木奈良縣知事物色せられ居る如く傳ゆるも兩知事は現に十四日同時に休職となりたれば果して大に疑を容るべしと如何となれば殊更に休職とするを要せず直に在官の儘任命すべき筈なればなりと云ふ

●外國郵便規則改正　遞信省令第七十一號外國郵便規則中左の通り改正されたり

第十五條　淸國以外の外國に發送する郵便葉書は政府發行の萬國郵便葉書又は往復葉書を用ふべし政府は發行の萬國郵便葉書又は羅馬締結萬國郵便條約施行規則第十六條の條件を具備する私製葉書は郵便葉書として之れを萬國に發送する事を得

右の場合に於ては政府發行の萬國郵便葉書は之れを無效とす

前項に據らざる私製葉書と雖も別に告示する條件を具備するものに限り之を郵便葉書として發送する事を得

●次官を失へる内部　内部次官岡喜七郎氏遂に去りて鳥取縣知事に任命せられたるを以て松井次官代理は十五日同部各課長及警視廳官房主理並に各課長を召集して之を達し併せて之が爲めに苟くも危懼するなく一層精勵責任事務に鞅掌すべき樣訓示を與へたりと

●平南地方暴徒襲來　十四日午前一時暴徒約五十名平壤憲兵分隊仙岩分遣所に來襲所員奮鬪擊退せしが我憲兵一名補助員一名即死軍曹一名補助員一名輕傷を負ひ賊亦多數の重輕傷者出せり賊は銃劍等十三點を遺棄して元山方面に退却し憲兵は追擊中なる旨同日憲兵隊本部に電報あり

●教育會組織の計畫　平南觀察使李軫鎬主唱の下に平壤に於ける官公私立學校の連絡を圖る爲め平壤教育會を組織せんと去る十日平壤普通學校に學校職員四十六名を召集して協議會を開きたるに二十五名は直ちに贊成したるも二十一名は確答せざりし爲め未だ決定せざりき

●韓政府の度量衡器　韓國政府の製造に係る度量衡器を汎く全韓に普及せしむる事に決し此後日本製造の同品は使用を絕對に禁止せらるゝ由なるが測量製圖用及醫療用に關するものは此限りにあらずと

●韓政府と岡若林氏　今回岡内部次官と若林警視總監が日本に於て縣知事に任命せられたるに就ては韓國政府との關係は統監府より十四日付を以て直ちに解任の手續を了せり

●撤去中の浮標再設　漢江浮標は冬季結氷以來撤去中の處今回信堂洞、東柿岩里、紅島坪、揚花鎭麻浦の各所に再設せられたりと

●統監府官制改正期　統監府官制は統監府高等官一部の更迭と共に發表の豫定なりし由なるも或事情の爲發表期を延期されしと聞く

●平壤下水工事會議　松井内部次官代理は十五日地方土木衛生の各局課長を次官々房に集め平壤下水工事施行に關する會議を開けり

●大東共報發行禁止　浦汐に於て發行する大東共報第二十五號及第二十六號は治安を妨害するものと認められ其の發賣頒布を禁止さる

●憲兵隊會議の終了　去る十三日より開會中なりし駐韓憲兵隊將校會議は十五日を以て終了せり

●新任宇佐美參與官　統監府參與官に新任されし宇佐美勝夫氏は統監府地方部長たるべしと云ふ

●大邱觀光團の歸着　大邱觀察使主催日本觀光團は十四日午前十時四十分釜山發列車にて大邱歸着

●仁川民會の開會　仁川居留民會は愈々今十六日午後七時より開會の筈

●江原觀察使譴責　江原道觀察使李圭完は仕拂命令錯誤の爲め譴責せらる

大官交迭と石塚氏

韓國處分…官制改正…要官交迭の三者は寺内陸相統監兼攝後特に著しく世間を聳動せる問題なるが其内要官の交迭は十四日東電の如く發表せられ先づ是にて一段落を了せるものと見做し得べし次いで起るは官制改正問題なるが彼の喧しき韓國處分問題と最も深き關係を有するを以て必ず又近き内に規出すべし唯だ其時期が彼是相併行すべきか若しくは官制改正は韓國處分の準備として其以前に實行せらるべきかは重要なる天機容易に窺ひ知るべからず然れども正副統監の胸中既に一定の成算ありて着々其步を進めつゝあるは明かなり而して何人も有吉氏總務長官に任せらるれば勢ひ石塚氏は其職を辭すべしと思惟せるに東電は依然氏を在職せしめ重要任務を帶ばしむるに決定せるを傳ふ是等裏面の消息は明かに時局問題進行上氏の去るを許さゝるを見るべく更に之を逆睹すれは總務長官の椅子を奪ひたるは只々其局面開展に資せん爲めに外ならずして決して他意なきを知るべきなり現に刻々迫りつゝある或時期は氏を慰むるに暫らく耐忍すべきを促がし氏も亦之を諒せる由に聞く故に氏の隱忍は恰かも蛟龍の池中に潛む境遇にして近く風雲の來り迎ふべきわるや必せり若し然らずして漫りに其椅子に戀々たるものならば氏の官僚的經歷を汚がすの恐や計り知るべからず而して功を一簣に缺ぐものなり然れば韓國處分官制改正…石塚留職とは相關聯せる者にして氏若し依然在職せば其將來や亦多幸ならんかと某消息通は語る

水力電氣權の繼承

日韓瓦斯電氣株式會社は澁澤男爵が豫ねて韓政府より特許を亨け居る漢江水力電氣の權利一切を同男より繼承すべく交渉中なりしが男も同社の大株主として又同社創設の元勳として自他共に利益なる所以を思ひ快く應諾するに内定せりと而して同社は發電經濟上現在の裝置を改め水力を利用する筈なるが然る時は現行料金の約四割の減價を以て供給し得べしと云ふ

●庵原漁政課長用向　平安道に於ける東拓會社漁場の紛擾に就ては前號に記載したるが如し東拓本年の漁業は試驗的なれば充分實地を闘査する必要あるを以て庵原漁政課長は十七日午前九時十分發の列車にて新義州に急行して龍岩浦に出で東拓會社の漁業實況を視察して漁民相互間の事情を調査し夫より理事廳觀察道に就きて事務の打合を爲し何日浦に到りて淸川江口に於ける鰕漁業及び附近沿岸の漁業を視察して鎭南浦に出で平壤理事廳及び觀察道と事務の打合を爲し二十六七日頃一先づ歸京し猶は夫より往復約三十日の豫定を以て咸鏡南北道に於ける漁業を調査し北韓一帶に於ける將來の漁業經營方針を立て又漁業出願處分を此間に於て考究する豫定なりと云ふ

●仁川商會議員競爭　仁川商業會議所議員の半數改選に就き元老派たる加來、奧田、穎原、桑野、沖津竹田、津諸氏に對抵する靑年派は伊藤市川、靑木、八田、宇治原の諸氏にして近來仁川港の中堅たる壯年氣鋭の有志者なる所今又別に朝鮮町派と稱する有力なる一團現はれ元老派は兎も角靑年派は仁川に何等の功勢ある人々にあらざれば彼等をして仁川を自由にせしむるは本意にあらずと爲し激烈なる競爭を開始したり此派に屬するは鬼頭、赤松、鈴木、河野、末永の諸氏なり

●韓海出漁船漁獲高　韓海出漁の日本漁船が三十六年より四十二年に至る間に於ける漁況左の如し

年別	漁業者數	漁船數	漁獲高(圓)
三六年	七、一八七	一、五九九	一六七二、一〇〇
三七年	六、九七五	一、五八一	一六一三、九〇〇
三八年	一〇、八三三	二、四四九	三三五一、六〇〇
三九年	二、二四五	二、七四八	二六五四、五五〇
四十年	四、一八一	三、一三三	二九七七、五九〇
四一年	一六、五四四	三、八九八	三四一八、八五〇
四二年	一五、七四九	三、七四三	三〇六六、八〇〇

●水野參事官出迎へ　内務省參事官水野錬太郎氏は十八日新義州着の豫定なるを以て内部は各地視察の便に供すべく警務局より中野警務課長地方局より田中理事官の兩氏を派し迎導せしむる事となり兩氏は十七日出發西行の筈

●選擧有權者の注意　京城日本人商業會議所にては過日來選擧人名簿の縱覽を許し來る十七日まで許し居たるに選擧有權者にして同名簿に記入漏の場合は右期日までに申出でらるべし若し同期間内に申出でなき時は權利喪失すべしと

●新設舊馬山驛開始　旣報の如く馬山、昌原驛間に舊馬山驛を新設し來る七月一日より荷客の取扱を開始する由尙ほ同線にては線路改良工事を施行し若干の里程を短縮するを得し爲め汽車運轉時間の改正を爲せり

●京城居留民會開催　京城民團にては來る十八日午後七時より民會を開き旭公園及び南山分校跡の舊校舍の處分、四十三年度追加豫算更正の件を附議することに決したりと

●三浦理事官の東上　三浦京城理事官は或る重大なる用件を帶び十五日午前九時南大門發列車にて急遽東上の途に就けり但し東京より召電ありたるにはあらずと云ふ

●岡若林兩氏の歸否　岡元内部次官及び若林元警視總監は何れも當地に家族若くは家財を存じ居るを以て一應歸韓すべき筈なるが其筋にて目下歸否照會中なりと云ふ

●復線工事の竣工期　日韓瓦斯會社が本月初旬より着手したる龍山十五間道路の軌道敷設工事は八月末を以て竣工する豫定なりと云ふ

●松永師團長の消息　隨時檢閲の爲西韓に出張中なる松永師團長は十四日午後四時三十七分新義州に着せし由其筋に電報ありたり

●永見副頭取の出發　滯京中の十八銀行副頭取永見寛二氏は十五日午前出發鎭南浦に向ひたりと

●澤田地方局長出發　澤田内部地方局長は辭任の岡氏と會見打合を了せるを以て本日出發歸任の筈

●京釜線增若驛閉鎖　京釜線增若驛は本月二十五日限り之を閉鎖することに決定したりと

新任長官等の經歷

▲總務長官有吉忠一氏　京都の人明治廿九年帝國大學法科出身の三浦理事官と同期生にして兵庫縣參事官を經内務省參事官となり山縣副統監の次官時代に文書課長及臺灣課長に任じ次で千葉縣知事となり今回統監府總務長官に轉じたり内務省在職中は議論家にて大に氣障なりし爲め省内の氣受け頗る惡かりしも頭腦明晰にして怜悧なる結果千葉縣に至つて自ら反省したるを以て屬僚民間の評良好なりき其の政治的手腕は未だ世に認められず素行は性來蒲柳の質にも依らんが未だ嬌名を聞かず曾て無人島を發見し政府より調査を命ぜられ出張せる際隨行の新聞記者に對し態度甚だ驕慢にして一回だも頭を下げ禮をなせし事なく記者連は頗る激昂したりしが歸來氏が脊髓炎の爲め頸脊に板を挾み居たる事分明し一場の笑話となりし事あり初めて氏に接する人之を知らずして氏を目するに傲慢なりとて惡感を抱くこと稀ならず氏にとりては誠に氣の毒なる事なりと

▲參與官宇佐美勝夫氏　山形縣米澤に產れ有吉氏と同季生にして同く法科出身なり内務省に入て宗教局書記官たること八九年其間職を辭せしことあるも幾程もなく舊職に就き後に轉じて富山縣知事となり統監府參與官に轉任したるなり性格は圭角なき温厚の人にて素行は山縣系統とて頗る謹嚴趣味は取立てゝ云ふべきものなく理務には精通せる方なりと性行斯る人なるが故に四邊一の敵なしと云ふ

▲治外法權▼

先日來新聞紙上を大分賑かして居た統監府大官の淘汰も愈々發表になつた、石塚の事務取扱を解いて有吉を總務長官に据ゑたのは何も曰くはない、只之からは從來の總務長官の仕事を副統監が代つてやると云ふに過ぎぬ▲幸か不幸か石塚は過去一箇年間事務取扱と云ふ名で統監、副統監、總務長官の仕事を一人でやつたソレが爲にか人間は大分ヅルクなつた併し同時に政治的手腕は冴へて來た▲内部の岡が鳥取縣知事になつて彼の丸山島根と並立する樣になつたのは氣の毒の感じもするが何かの運命だ▲若林の奈良行は彼の元居つた島根よりは一等上だ、新任宇佐美參與官に到つては今日迄何も聞くところなしだ▲トコロで以上の人達や統監、副統監の出入に就いて遠からず亦々數々の送別歡迎があらう、會費御持參の回章が飛ぶことであらう、此暑いのに難有いやら、迷惑やら▲山縣が實業家連の請待を斷つたのは當然の事だ、我利我利連の馳走を喰つたら後が大變だ▲聞く鶴原が總務長官になつた當分は大阪連から大分馳走を受けたものだ、トコロが馳走の祟りが在職中大分やつて來た、其後鶴原は大坂連にオヂケが附いて東上の途次など決して大坂に寄らなかつた▲邦人中の暴徒被害者へ韓廷から頭割金十圓の見舞金は振つて居る、一體コンナ金の取次は誰がするか▲民團協議會に就いて大分非難がある、古城たるもの少しく注意すべしだ▲商業會議所議員の選擧競爭は中々激甚の樣だ、不景氣不景氣とコボシながらも競爭の勇氣があるのは感心な事だ▲寺内子の身上に何か變でもあつた樣な噂がある、御用心、御用心。



京城の裏面(二)

雑貨店主と店員(一)

京城に多いものは官吏と娼妓と雑貨屋と無職者とである、此内の小雑貨屋の注文取り所謂華主廻りなるものゝ裏面を窺つて見よう。

彼れ等の内部へ來る迄に雑貨店の華主廻りに傭はれた者は殆んど皆無だ皆な役人か給仕か乃至は會社員等になり損ねたり乃至外れた連中が多い、尤も同郷の關係上商業見習ひの爲めに來たものは別だ、而して彼等の給料は月額は初め大抵八圓から上等で十圓だ、食事住居の心配もなく衣類の神經は與へらるゝから格別の心配はない、亂暴は所に依つては自家に立つ、夫れに賣上げ高に依つて三分乃至五分の利益分配がある、一箇月に八三百圓の賣上高があるとすると三分として九圓五分とすると十五圓の配當がある、食つて住んで衣類の心配もなく而して給料とも十九圓乃至二十五圓の收入があれば下級官吏より以上の心配ない丈が得である、其所で支出の方は煙草代及び郵便切手等の小遣銭を差引き後は酌婦相手の遊興を月に二回として先づ一合計十圓と見て置けば普通であらう、無論散髪料も夫れに含ませてである、然うすると少なくとも九圓多きは十五圓の餘財が出來る、一年には少きも百八圓多きは百八十圓を貯金することが出來る三年も勤續すれば立派に小商賈の資本は出來るのである、然るに彼等は夫れを行らない、いつのみか酒色に耽しんで[illegible]の貯へも出來ぬ[illegible]、夫れで出て行く時分には既に何分の負債を殘してある然らされば賣掛金を横領して居る、[illegible]住み替へ盛んに雇主が泣き寝入りだ、更に他の雑貨店に不都合な連中になると他の華主を横取りする不都合とも何とも言ひ様がないとは雇主側の言分である、併し自分が他店の古顔の敏腕家を配分を高かくして傭入て居るとは云ぬのである(續)

暴徒學校を襲ふ

▽教員二名を殺害す

十四日午前中慶尚北道[illegible]に暴徒五十名許襲來し[illegible]教員に重傷を負はしめ其住宅を焼き更に[illegible]に於て教員二名を殺害せしが暴徒は各自銃器を携へ居ると同地警務署より其筋に電報ありたり

外國紙幣偽造

▽控訴判決渡し

長崎縣人民當時[illegible]在住田安太郎大阪府平民奥田ちよの兩人は[illegible]昨年一月清國吉林省に流通する吉林官錢の發行に係る紙幣の偽造を企て[illegible]大阪に於て[illegible]西山國三郎に依頼し[illegible]金三十六圓を與へ[illegible]該紙幣印刷の準備を爲さん事を委託し[illegible]内緣の妻ちよと共に[illegible]京城地方裁判所に於て[illegible]不服とし控訴中なりしが[illegible]京城控訴院に於て言渡されたり

迂潤乗な仲人口

▽花嫁花聟の詐欺沙汰

日本でも昔しから紺屋の明後日と仲人口は當てにならぬものゝ隨一に數へらるゝが茲に江原道金海郡伊東面愛枕里に任ずる田捷心(四〇)と云ふは數年前妻女に死別れ[illegible]醒め佗しき夜な夜な[illegible]且つは相當の資産もあるも[illegible]後妻搜索の爲め色行脚を思ひ立ち[illegible]入京して容姿美はしきを搜したるが[illegible]周旋を托され居たる[illegible]方同居の美人金召史(二三)が慶心の注文通りの美人なるに眼を付け交渉を試みたるに金召史は財産なぞは有つても無くても差し支へなけれど田舎で暮すは厭ですと云ひしに周旋人の某は疑心は生れは江原道なれど目下は京城にて商賈を成し居る資産家なりと偽りしより然らばと相談一決して去る十二日の夜結婚式を擧ぐる事となりしに田は數十金を投じて召史の着衣を調製し與へ周旋人には十八圓を謝禮し喜び勇んで十四日郷里に伴ひ歸らんと人力車にて東大門外迄行きしに召史は約束が違ふ田舎暮しは眞平なりと途中より何方へか姿を晦ましたるにぞ譯を知らぬ慶心は直ちに其の筋に詐欺の告訴を提起し十五日同女の所在發見したるより以上の始末も判明したるに慶心は同女に衣類の返還を請求せしが同女はアノ晩一夜に夫れ丈けの事はしてあると言ひ張り目下ゴタゴタ中なりとか迂潤に乗れぬは人の口なり

女振り

松浦源治氏夫人 松浦あき子

松浦源治君は本町二丁目の辻屋商店主だ、あき子さんは廣島縣御調郡中庄村の產、明治十三年の出生だ、甚だ剛毅の如で他人の評判なぞは何所吹くかと云ふ風に見へるが内心は頗る潔白正直で世間に氣を兼ねる方だ、源治君外交が忙しいので雀がチウと鳴くと同時に家を出す、多くは夜に入らなければ歸らない、であるから店の方は大概あき子さんの擔任である、れ二人の間に未だ小供衆がない、實を云へばモウ二三人は在られて然るべき筈だ、が事實に於て無いものは致方もない、あき子さんの御嗜好は取り立つて云ふ程のものはない、何時も麗に爲ては居られるが至極質素である、過日泥峴街の商店主や若主が壽座に於て素人演劇を催すべく議一決したる際夫人には秘密で源君は青木堂主久保田君等と最先に立つて熱心に稽古に取り掛つた、曾我五郎を割り當てられた、源君悦斜めならず成田屋張りで一物を唸らせ知と企圖で居た所がと云ふ間際に到り夫人の知る所となつて大々的抗議を持ち出された、普通の抗議ならば源治君一もなく刎ね付けるのだが此の抗議は手が付けられないで殘念ながら中止した、夫人の曰く「他樣には他樣のお考へも御座いましようが私は惡い事とも存じませんが善い事とも存じませんから止め申します強いてなら私はお暇を頂きたい」と云ふのである、源治君曰く「女房を離縁迄行りたくはないよ」。

●日清人の大衝突 東大門外紅葉町一番戸白木順作は同街路を西方に向け自轉車にて疾走中中部水標橋通りを清國人菓子商雲逢龍が同所を東方に向け同じく自轉車を驅り來ると衝突し順作乗用の自轉車前輪を破損したるより大立廻りを初め遂に東部署の厄介になりしに順作は損害金十圓を請求するより自轉車屋をして修繕料見積らしめ結局八十錢を雲より支出させ事濟み

●大尉從卒の奇特 龍山工兵第二大隊第一中隊矢島大尉の從卒星野勘次郎は十四日〇時五十分頃南山公園散歩の途次絶頂に近き城壁外側に於て現金二十三圓入りの財囊を拾得し即時本町分遣所に屆出でたり心當りの者は至急同所に出頭受取らるべしとなり

●仁川雑事 仁川仲町一丁目花村鶴松方飼犬は一昨日万石町居住の水道局員坂谷新次郎に噛傷を被らしめしかば其筋より警官醫出張檢診の結果狂犬病にあらざる事を確めしも嚴しく繋留を命じ飼主には說諭を加へたりと▲仁川敷島遊廓第三高砂樓の抱娼妓に此れ轉婆ありと知られし仙臺は嚢に廢業したれば何れ芽出度筋なるべしと思ひきや花町なる藥後亭の酌婦に成り下り一昨日仁川署に屆出を爲したりとぞ

東方横綱常陸山

▽二十三日來京する

東京大相撲は既報の如く愈二十四日を初日に當地に乗込む事となつた、されば幕内力士に付き一々批評を試んに總理大臣の名は知らないものも常陸山谷右衛門の名は知つて居る、東郷大將と常陸山は名を知られて居ると云ふ點に於ては正に東西の兩大關である、昔の谷風と雷電と云へば人皆鬼神の様に稱へて居るが三十八貫の巨體當代の常陸山は力量體格共に決して兩者に劣らない、彼れは茨城縣水戸市上市三の丸の劍術家市毛高成の二男に生れ祖父の市毛谷右衛門は水戸烈公の弓術指南をして居つた、藤田東湖先生抔も其門人であつたそうだ、常陸の家は如斯世々武藝を以て聞へ現に彼れの叔父なる内藤高次氏は京都武德會の師範にして左上段を切れば現代殆んど敵するものがない位ひである。常陸山は幼名市毛谷と云ひ水戸中學を三年迄修業し十七才の時東京に出て前記内藤氏が當時早稲田大學の擊劍教師を爲て居るのを幸ひ其家に身を寄せて劍道を習つて居たが何樣非常な力量で竹刀の持ち方を習つた切りでハヤ内藤氏の竹刀を叩き落すと云ふ強力であつた、或時内藤氏に連れられて龜戸の天神へ參詣し鳥居の傍にあつた四十貫以上の石を輕々と持ち上げた、内藤氏はつくづく常陸山の非凡な力量に感心して頻りに角觝になることを勸め、種々なる故障を排し遂に去る明治二十四年先代常陸山(今の年寄出羽海)の弟子となり御西山といつた、之れは烈公が西山に隠居して居つた所から付けた名である、後ち三十二年一月入幕し三十七歳の今日迄勝負に負けたのは僅かに八回であるそうだ、彼れは去る四十年洋行して米國大統領ルーズベルト氏と握手した、力士で洋行したのは古今常陸山一人である、力士社會に於て此事既に日の下開山である、大男總身に智慧が廻り兼ねと云つて一體力士と云へばでくの坊然とした樣に思ふが常陸にはそんな脱けた所が無い一通りの常識を備へて居る、殊に彼れの天下に誇る可きは頭の頂點から足の爪先に至る迄人体美の標本とすべき程完全に發達し往年の小錦と鳳凰とを折衷して而かも上出來の容相、寧ろ壯美である、偉大である、彼れも最早老衰の境に入れりと云ふものあれど中々左樣でない、先年二場所太刀山の爲め破られたけれどそは太刀の近來著しく強味を増したる爲めで常陸の弱くなつた爲めではない、彼れの特意は挑出しと寄り出しである、是れ彼れの怪力ある所以である、彼れは頭が高い、威張る、高慢だと世間で噂もあるけれど彼れは天下の力士である、腰を折つて祝儀に有り附かうといふやうな藝人の眞似をせぬといふのである、其意氣又稱す可しである。

店員評判記(十三)

今村米穀商店員 宇野喜代一君

昨日は夫人を女振りに紹介した今日は其所の店員を紹介する、偶然の如で居て夫れで何んだか因縁があるらしく思へる、喜代一君は本年二十三故郷は山口縣である、三十九年來韓大上商店に入つた、越ねて四十年十一月今村さんの方へ轉じたのだ、元來此の當地での店員なるものは會社員、職工、役人なぞと異る所はないので唯異る點は食住の二つのものを雇主に任せると云ふにあるのみだ、だから此の雇主を變へても不都合の行爲さへなければ差し支へはないであらふ、今村商店では主人の氣受けも善く忠實に働いて居る、實家は酒家で嗜好は芝居、耳の少し遠いのが疵と云へば瑕であらふ。

●龍山座の浮節芝居 ▽初日は二十五錢均一 今回龍山座に乗り込みたる浮れ節芝居市川鯉之助一座は十六日を以て初日を出す由にて初れ目見ゑに附き初日に限り棧敷出孫を除き塲代とも二十五錢とし早い者勝ちなりと同夜の演し物は前「柳川三勇士」切「新明烏浦里雪責の段」にして廣澤小三の新内出語りあり尙ほ同一座は同地打揚後京城歌舞伎座に乗り込む都合なり、重なる配役左の如し 宮本武藏、春日時次郎(吾妻家小圓)奴三平(宮川國豊)最上出羽守、南町奉行青木(嵐三五造)下男要助(市川戀笑)娘れ梅(中村福助)高田又兵衛(喜樂亭玉造)木黑久兵衛(尾上圓九郎)絹屋(市川小寅)茶亭(尾上圓勝)相川軍造(嵐小六、團平(市川鯉治郎)種田五郎左衛門(市川壽紅)關口彌太郎、やりてれ杉(中村壽江治)笹野權三郎、浦里(市川鯉之助)

目と耳

▲歌舞伎座 過日開會したる京都横田商會の活動寫眞十六日よりは更に呼物を殘す外全部取替へ觀覽に供すと云ふ其重なる寫眞の種目は左の如し 若心の結婚、フロックコートの初着、西班牙軍隊、奇術ダンス、酒狂者、親泣せ、泥捧の箱詰、飲酒の戒、懲兵の眼力、遊覧船、怠けボーイ、手管女、轉宅の前祝、帽子の魔術

▲仁川竹園館 に乗込みし三遊亭若遊三一座は連夜大入の好況を呈し同人の特意藝なる松の名所、元祿、博多節、與三郎、清玄杯は同地花柳界の大流行となれりと以て其好人氣の程も察せらる

●基督教傳道會 北米合衆國長老教會の經營に成れる世界特別傳道會の日本傳道者として昨年以來東京始め各地に活動し到る所に多くの回心者を起し好果を收められし熱誠篤信なる外村義郎君並にゴルボルド君の一行は過日來釜山基督教會の招に應じ四日間の集會に臨まれ該地に於ても一百名以上の回心者を出せしと云ふ今回當地旭町四丁目の日本基督教會は右兩氏を聘し六月十五日より十九日まで左の日割を以て連夜演說會を開かるゝ由

連夜說教(毎夜八時より)
婦人の會(十六日午後二時より)
禮拜說教(十九日午前十時より)
子供の會(十九日午後二時より)

近頃有益な集會と云ふべし而して十六日の午後二時婦人會「無くて叶ふまじき一の者」夜は「基督の十字架」なる演題にて外村氏說教せらるゝ由

今日の運勢

●四緑● 六月十六日舊五月九日 ●一白● 先勝 壬子 破 八専入

△一白 人の利益の爲に勞するあり盗害遺失を防ぎ爭端を醸す勿れ△二黒 婚姻共同組合結社に忌む新事及旅行轉移凶△三碧 平凡の日入學門連盟共同組合婚姻の事に適す△四緑 新事旅行見合せの事屈辱若くは威壓を受くるあらん△五黄 貸借賣買相談利あらず親族の事煩累あり△六白 新事見合せの事建築勤士金屬の業務に吉△七赤 破綻背離を見る日とす結婚衝突不和葛藤の事注意すべし△八白 破却し易き日談議婚姻共同組合貸借賣買に注意盗難の恐れあり△九紫 模様方針替改革整理に吉其他總じて靖寧の日なり(本町五丁目三一 舘判斷)

朝鮮紳士錄

右壹部金三圓にて御望みの方へ差上可申候

京城新報社

●天氣豫報(自十五日午後六時至十六日午後六時)

晴れ後曇

十四日(華氏) 最高溫度 七九、〇 最低溫度 五八、八

公告

韓半島鐵道期成會經費收支決算左記ノ通ニ候也

明治四十三年六月十五日 韓半島鐵道期成會

收入之部

一金壹千八百拾八圓 會員百拾七名ニ對スル收入寄附金

支出之部

一金壹千八百拾八圓 總支出高

差引殘ナシ

支出明細表

摘要	金額
運動費ニ支出	一、五五〇、〇〇〇
報告會宴會費	三五、〇〇〇
各新聞記者招待晩餐費	二五、五〇〇
委員會晩餐費	一七、六五〇
聯合鐵道期成會負擔額	三〇、〇〇〇
寄附金募集ノタメ臨時雇費	一七、六〇〇
同上徴收手當	一〇、〇〇〇
電報料並ニ郵便切手及送金爲替料	一五、一二〇
委員會並ニ報告會ノトキ煙草代	九、九五〇
半紙、狀袋、帳簿代	三、四五〇
寄附金募集車代	一六、一〇〇
京城日報外四新聞廣告料	二五、〇〇〇
事務員手當	一五、〇〇〇
商業會議所調査費へ寄附	四七、六三〇
計 金	一、八一八、〇〇〇

夏の食道樂

一刻千金の春の夢、名殘なく消ねて綠蔭の下、幽草の邊り涼風通ふ今日此頃こそ食道樂は實に京城唯一の樂境なり呼べば應ふる南山の景色と對ひ不斷に送る清風を懷ろにし一杯を酌むの愉快は他に求むべからざる所殊に其厭味なき小ざつぱりしたる所謂色氣のない所に自から精神のすがすがしきを覺ゆるものありとする所實に玆處にありて開業以來一日の如く幾らず倦まず努め行し來りたる特色にして他に其類なき京城名物に候さて又夏の料理としては氣の利きたる珍品を撰むは勿論特に衛生上の注意を怠らず更に季節ものとして別に

うなぎ蒲燒並に丼

アイスクリーム

をも相調ね御賞味を仰ぎ候元より尋常の出來合品とは聊か其撰をことにしたる自慢の品たるべく何れも食道樂一流として從來の料理並に御引立の樣御ためしの上御高評願上候

追而各品何れも多少に拘らず出前の御用に應じ可申候、但し「アイスクリーム」に限り出前は五杯以上の御注文に限り候樣御承知願上候

京城壽町二丁目

食道樂

電話九四四番

うなぎとアイスクリーム

諸看板製作

油繪肖像畫●硝子金文字入 ペンキ塗工事大勉强請負

永樂町二丁目 赤門通り 椹野工舍

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九番
ゑり徳商店

一鴨綠江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候
建築業 京城旭町三丁目 電話五百六十八番 柴田芝六

表具部開業
額屏風天井壁張及表裝一切並書畫の需用に應す
旭町三丁目三日月湯隣
柴田表具部
主任 網島久雄 眞光小太郎 電話(五六八)

○生徒募集
英漢數各科各學級へ隨時入學ヲ許ス
毎日午後一時ヨリ午後十時半迄晝夜授業二應ズ
京城旭町一丁目
京城學舍

京城曙町(電話二八七番)
統監府御用 宮内府御用
軸物表装 金泥屏風 額面硝子 壁張
石川表具店

マッサージ術
僂麻質斯。(ロイマチス) 脊髓炎。腰筋骨 神經痛。
一切の術
小生儀内地に於て他年の間斯業に從事致し居り多數の患者を全治せし經驗有之候處今般左記に出張所を廣け設く患者の需に應す
京城西小門通(三ツ角)
佐世保より出張 井手

代書業
京城裁判所前向
池田仁吾

民刑事件鑑定辯護
前檢事 辯護士 豊田法律事務所
京城鍾路裁判所向

文明厨爐 下女イラズ
便利經濟必ず御試用を希ふ
石油厨爐の覇王
構造製作共に進歩完全の好評嘖々
今回第二回製產品博覽會にて受賞 貳等賞銀牌
特約店は全國各地にあり 商標御認の上御求を乞ふ
發賣元 大阪市本町通渡邊筋角 電話東壹參三六 振替大阪三五八八 島田支店
代理店 京城本町通五丁目(電話四十五番) 釘本金物店

六月
移轉御披露
弊店儀從來の家屋改築の爲め長谷川町に於て營業罷在候處今般落成仕候に付肩書の場所に移轉致し候間此段廣告候也
京城太平町一丁目五十五番戸
湊質店

六月一日ヨリ
岐阜提灯賣出し
利益なし元價の
一張二十五錢

東京 足袋
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋 藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

增築御披露
京城南大門通三丁目光宣門側(電話一三八二番)
御待合 紅葉
四方粹客樣方の御引立に預り手狹を感じ往々折角の御運びを御斷り申候等不本意千萬に有之候に付今般改築間數も增加殊に浴室の設備も致何時にても用意罷在申候間不相變御枉駕の程奉希上候

貨物運送取扱
稅關貨物取扱
危險擔保附運送品
代金付貨物運送
貨物引換證發行
内國通運株式會社
京城南大門驛前 京城支店 電話七〇八番 一七九番
仁川驛前 仁川出張所 電話五一一番
草梁驛前・釜山驛前 釜山出張所 電話六二六番 草梁驛前電話五三七番
龍山驛構内 龍山出張所 電話二〇六番

此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰病、中風、ひぜん、梅毒、りん病、よこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、ぜんそく、膓胃加答兒、打撲傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を併用すれば尤も効能あり
ためのある温泉湯
貸席 京城本町一丁目郵便局前
鐵冷温泉
電話千四百十一番

登錄商標
天下一品
清酢飛梅印
釀造元 尾道市 野間直兵衛
特約店 京城本町四丁目 前田商店 電話一三七番
同五丁目 大上商店 電話二五一番

明治廿年七月創立
資本金一千萬圓
東京火災運送保險株式會社
京城代辦店 本町四 山口呉服店 電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

和洋農具並ニ養蠶具器械一式
純良農產種子養成販賣○果樹、山林、庭園用苗木、觀賞用植物苗木類、肥料
京城東大門外露島 興國農園種苗養成所
諸官衙御用達
京城本町一丁目六十五番戸
三輪商會 電話三八六番

特約販賣 自製
味噌醤油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
ビール 新茶 大賣出し

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
電話一一番 六一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下関、新大阪町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

★株式會社百三十銀行韓國總支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山城八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野
東海道 住吉、茨木、下市、東京、横濱、大磯、甲府、名古屋、半田、熱田、四日市、静岡、山田、桑名、松阪、津
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤
山陰道 大聖寺、富山、伏木、新湊、宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、新市、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、徳山、小郡、長府、綱干
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、徳島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ケ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
清韓國 木浦、仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、晉州、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

滋養と牛乳
純良牛乳
京城東四軒町
岡野牧塲
電話壹六九〇番
馬車配達
衛生と消毒

入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主 醫學得業士 中島貞信

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓
株式會社 十八銀行 京城支店
京城南大門通 (電話四二〇)
本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、羅州
出張所 大阪、熊本、佐世保、厳原、五島、壹岐
日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
其他
貯蓄預金(利子歩合…日歩壹錢二…)(一口金…以上何時にても預り申候)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)

髙等旅館
平壤大和町
浪花館
電話一三四番

諸官衙御用
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
委託販賣
東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
藤田合名會社
釜山商船會社京城支店特約
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目十番地 電話新橋三六二九

京城梅毒病院
京城相生町南門湯横(電話一二九四番)
自午前八時至午後九時
●花柳病專門附痔疾一般
●入院隨意●
院長 醫學得業士 蘆田耕平

奥出洋服店
京城櫻井町五十七番ノ一(電話一二五五番)

韓國銀行
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、咸興、羅南、安東縣、新義州、
爲替取引先
日本 東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大坂西區、松山、廣島、長崎、
韓國 公州、光州、晉州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、
清國 營口、大連、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、
其他 漢口、上海、
外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、

紙と印刷
諸紙 諸官衙御用
和洋帳簿 印刷 各種製本
播本商店
京城本町六丁目 電話百拾番

金錢貸借電話讓渡 土地家屋老舖賣買 人事百般其他
京城明治町一丁目勸商場前(電話一二九八)
周旋業 明治屋

辯護士 特許辯理士
京城明治町二丁目(佛國教會前)
岩田仙宗
電話三五四番